

登録コード	F3C14830	開講年度	2026			
授業科目	化学・材料学概論				担当教員	亀山 達矢
英文授業名	Introduction to Chemistry and Materials				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生
講義室	繊維総研棟ミーティングルーム1		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 2 Fカリ					
	【2022年度以前カリキュラム対象】現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力				⇔	化学・材料学科の教員が行っている研究および関連する研究、あるいは研究に対する考え方やアプローチを通して、現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力を修得する。
	2 4 Fカリ・化学材料、2 3 Fカリ・化学材料					
	【2023年度以降カリキュラム対象】共通教育による幅広い教養と、化学・材料に関する基礎科学を理解できる能力				⇔	化学・材料学科の教員が行っている研究および関連する研究、あるいは研究に対する考え方やアプローチを通して、現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力を修得する。
	【2023年度以降カリキュラム対象】化学・材料に関して、実験方法を理解し、専門的に解析および考察できる能力				⇔	化学・材料学科の教員が行っている研究および関連する研究、あるいは研究に対する考え方やアプローチを通して、現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力を修得する。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	化学・材料学科の全教員がリレー方式で講義する。各教員から出される課題に解答、提出する。これらを通して、化学・材料学科の教員が行っている研究および関連する研究、あるいは研究に対する考え方やアプローチを紹介する。 学習・教育目標を認識し、自己の達成度を把握するために、3年前期の授業科目の成績に基づいて、各学習・教育目標の達成度評価を行う。 また、学習目論見の記入をとおして自己分析を行い、教員との面談を通してより理解を深める。					
(5)授業計画	この科目は、授業時間100分で実施します。 日付と内容（日付表示例 250930 = 2025年9月30日） 250930: Class_01 概要説明＋教員3名の研究紹介 251007: Class_02 教員4名の研究紹介 251021: Class_03 達成度自己評価 記入説明、記入実施 251028: Class_04 面談日（基準日） 251104: Class_05 教員4名の研究紹介 251111: Class_06 教員4名の研究紹介 251118: Class_07 教員4名の研究紹介 251125: Class_08 教員3名の研究紹介 251202: Class_09 教員3名の研究紹介 251209: Class_10 教員3名の研究紹介 251216: Class_11 教員3名の研究紹介 251223: Class_12 学習目論見 面談日（基準日） 260106: Class_13 オープンラボ1 260113: Class_14 オープンラボ2 260120: Class_15 研究室配属説明、後期の振り返り（授業アンケート） ※教員による研究紹介の実施順は、別途eALPSに掲示する。					
(6)成績評価の方法	授業計画の内容への配分を、研究紹介60%、学習教育目標達成度評価10%、学習目論見10%、ラボ見学20%とし、提出物に対して次の(1)～(3)の基準に基づいて評価する。 (1) 講義で説明された研究内容や手法を理解している。 (2) 各学習・教育目標について正確に自己評価できる。 (3) 学習・教育目標達成のために何をすればよいか理解している。 (4) 達成度評価、学習目論見が未提出の場合は、不可（F）とする。					
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	各教員の専門分野について、繊維学部のホームページ等で予め調べ、関連する内容を事前に学習しておくこと。授業中は各教員の講義を、メモを取りながら聞き、研究の背景や意義、結果および考察などについて、それらに関わる方法論も含めて整理しておく。 各教員から出される課題に授業時間中あるいは授業時間後に解答する。 なお、この授業は90時間の学習を必要とする内容であり、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	本授業では、卒業研究を行う研究室の選択する上で重要な情報が得られるので、必ず全教員の講義を聞くこと。専門性が高く、高度な内容も含まれるので、分からない点は自分で調べたり教員に質問したりすること。					

(10)質問,相談への対応	随時受け付けます。主担当まで問い合わせてください。
(11)学生へのメッセージ	特になし
(12)その他	なし
【教科書】	なし
【参考書】	特に指定しない